

## ワルシャワ自転車展調査及び市内自転車店調査報告

### 1. ワルシャワ自転車展

同展は、ポーランドの首都ワルシャワで開催された消費者向けの自転車展である。昨年10月にはビジネス客向けの自転車展も同地で開催されている。

#### 【VII TARGI ROWERY 2011】

主催：SPORT EXPERT

会場：Warszawskie Centrum EXPO XXI

会期：2011年3月12日(金)～13日(日) 9:00～18:00 (13日は17時終了)

使用ホール：Hall no.1

入場者数：未公表 ※3/28現在

出展社数：51社 145ブランド ※出展社リストより集計



会場正面



自転車展ホール

開催場所は、市の中心部からバスで15分ほどの位置にあった。会場は合計5ホールあったが、自転車展は最大面積5,250㎡の第1ホールの半分強が展示面積で、残りのスペースはバイク・ポロの競技場となっていた。

なお、会場の別ホールではガス・エネルギーに関する展示会が行われていた。

主な出展社としては、市内自転車店調査でも見られた輸入ブランドを中心として、CUBE、コナ、スコット、オーサー、ジャイアント、メリダ及びウィラー等であった。車種ではMTBをはじめスポーツ車が多く出展されており、米国ブランドのスペシャライズド、トレック及びキャノンデール等も揃い、更にはコルナゴやサーベロ等の高額なロードレーサーも見られた。

また、トレッキング車を中心に一部EPACを扱うケトラーやラレー/ダイヤモンドバック等もあったが、ポーランド市場はスポーツ車が中心であり、EPACはごく一部の出展にとどまった。また、少数ながらビーチクルーザーやシングルスピード車がここでも見られた。



CUBE



スコット



スペシャライズド



トレック



ジャイアント



メリダ

一方、昨年11月ポーランド第2の都市クラクフから急行電車で2時間弱の地方都市であるキエルツェにて開催された「Kielce Bike-Expo」に大きな小間を出展していた、主要な国内ブランド KROSS、ARKUS&ROMET 及び UNIBIKE 等はこの展示会では姿が見られなかった。キエルツェ展は、ポーランド自転車産業団体の協力のもとに初開催された展示会である。

昨年ワルシャワでも、ビジネス客向け自転車展示会を開催し、両者は競合状態にあった可能性もある。しかしながら、ワルシャワは首都であり人口も最大である。自転車市場としても同国有数の都市であることは間違いなく、ポーランドがチェコ共和国に次いで東欧市場として発展する可能性も含み、両展の今後の開催動向はこれからも注目される。



EPAC はごく少数



サイクル・ポロ競技場

## 2. ワルシャワ市内自転車店調査

調査実施日：平成23年3月11日(金)

訪問地域：ワルシャワ市内

### 調査店舗①

まず、ワルシャワ中央駅から路面電車で10分程の中型店舗を訪問した。取扱いブランドは、地元ポーランドのKROSSが殆どを占める。最も台数の多いMTBは、1,500ポーランドズロチ(以下 PLN と表記；42,000円)前後を中心に100台余り、高額MTBは2,000~3,000PLN(56,000~84,000円)の米国ブランドのハローなどが展示されていた。シティ車とトレッキング車は、50台、子供車、BMX及びビーチクルーザー等も各10台程展示されており、取扱車種は幅広いものの電動アシスト自転車(EPAC)は見当たらなかった。

### 調査店舗②

次は中央駅から別系統の路面電車で15分程の中型店を訪問した。スポーツ車を専門とし、取り扱いブランドはKROSSとジャイアントが中心であった。ローカルブランドの1,000PLN(28,000円)未満の廉価MTBもあるが、MTBの中心はKROSSで1,500PLN(42,000円)前後、ジャイアントは2,000~2,500PLN(56,000~70,000円)であった。3,000PLN(84,000円)を超える高額車は、KTM、ジェイミス等20台程、MTBだけで合計100台を超える台数が展示されていた。シティ車、トレッキング車もわずかに展示されており、BMX、折りたたみ車やシングルスピード車もあったがEPACの展示は無かった。



調査店舗①



調査店舗②

### 調査店舗③

引き続き別系統の路面電車で郊外にある大型店舗を訪問した。仏系スーパーの地階を店舗としており、現在はスキー用品や関連衣料が中心のスポーツ用品店であり自転車専門店ではないが、自転車の展示数や取扱ブランドは市内小売店に引けを取らない内容で高額なものも多かった。

MTBは100台程あり、ドイツのブランドCUBEが3,000~10,000PLN(84,000~280,000円)まで幅広くそろい数も多かった。その他、3,000~5,000PLN(84,000~140,000円)を中心にメリダ、Gフィッシャー、コナ及びビアンキなど充実していた。ロードレーサーは、5,000PLN(140,000円)前後のCUBEとビアンキが10台程で、トレッキング車は、CUBEが30台、3,000PLN(84,000円)前後であった。シティ車は、ドイツのケトラーが30台程、3,000PLN(84,000円)前後であった。



調査店舗③（左；地階の店舗入口、右；上階は大手スーパー）

### 調査店舗④

再び中央駅からバスで15分ほどの小型店舗を訪ねた。元は工場や倉庫だった場所にあり、店内にはMTBが40台程展示されていた。明日からのワルシャワ自転車展に参加のため展示会

場に運んでしまい、自転車は通常より少ないという店員の説明であった。取扱いブランドは、カナダのコナを中心に一部、CUBEがあり、価格帯は、3,000~5,000PLN(84,000~140,000円)であった。



調査店舗④（左：店舗、右：入口付近の看板）

### 調査店舗⑤

最後に旧市街地域に接する中規模店を訪問した。取り扱いはトレックとGフィッシャーが中心でMTBは50台程、価格帯は、1,500~2,000PLN(45,000~150,000円)であった。同ブランドのクロスバイクやトレッキング車は30台程で1,300~1,700PLN(36,400~47,600円)が中心であった。スロバキアのケリーサイクルは50台、価格帯は1,500~3,000PLN(42,000~84,000円)であった。更に2,000~3,000PLN(56,000~84,000円)の中・高級MTBは、GT、ジェイミスが揃っていた。また、同店の直ぐ近くには修理専門店があった。



調査店舗⑤



近くの修理専門店

以上  
(デュッセルドルフ事務所)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。

